

# 研究部会活動状況報告書

(平成 26 年 2 月 28 日)

研究部会名称	生型研究部会		
サブテーマ名	生型砂管理技術の再構築		
部会長・幹事名	部会長：橋本邦弘（新東工業）、幹事：前田安郭（海保大⇒大同大）		
開始年月	平成 22 年 10 月		
委員数及び構成	委員数	32 名（内訳）	大学・国研等 8 名 企業 24 名

## 平成 25 年度通期 部会活動状況

### 第 1 回

日時 2013 年 6 月 27 日（木）

場所 安保ホール（名古屋）

内容（発表題目、発表者）

- 1) 凍結鑄型におけるアルミニウム合金の湯流れ性 産業技術総合研究所 尾村直紀氏
- 2) 砂管理の改善 森川産業(株) 西原委員
- 3) 生砂添加剤の特性調査～生砂特性への影響 (株)コヤマ 田中委員
- 4) 鑄型界面における炭素質挙動の基礎調査 (株)アイメタルテクノロジー 佐藤委員
- 5) 市販教材の鑄造キットによる鑄造実践 広島大 田島委員

### 第 2 回

日時 : 2013 年 8 月 28 日(水)

場所 大阪産業大学 梅田サテライトキャンパス

内容（発表題目、発表者）

- 1) 土岐可鍛工業での砂管理の状況 土岐可鍛工業(株) 樋口委員
- 2) 浜北工業での砂管理の状況 浜北工業(株) 伊藤委員
- 3) クボタでの砂管理の状況 (株)クボタ 松本委員
4. 生型すくわれ試験片による評価事例 三重県工業研究所 村川委員
5. 生型ラインにおける鑄物砂性状の科学的考察 (株)アイメタルテクノロジー 佐藤委員

### 第 3 回

日時 2013 年 12 月 11 日（水）

場所 安保ホール（名古屋）

内容（発表題目、発表者）

- 1) 生型ラインにおける鑄物砂性状の科学的考察（前回続き）  
(株)アイメタルテクノロジー 佐藤委員
- 2) サンドピンによる砂のばらつき低減調査結果 コマツキャストックス(株) 西野委員
- 3) 森川鉄工における砂管理状況 森川鉄工(株) 森川委員
- 4) 銑鉄用スクラップの動向から見た鑄物生産動向 大銑産業(株) 永田委員

### 第 4 回

日時 2014 年 2 月 24 日（月）

場所 安保ホール（名古屋）

内容（発表題目、発表者）

- 1) 生型造型技術の動向と型技術 新東工業(株) 橋本部会長

- 2) インド・中国・韓国の鋳物事情 栗熊技術事務所 栗熊氏 (特別発表)
- 3) 低臭気 RCS の現場展開とガス欠陥対策 (榊マツバラ 川島委員)

平成 26 年度活動計画

- 第 1 回 2014 年 6 月中旬  
場所 東京地区  
内容 委員発表 4 件予定
- 第 2 回 2014 年 10 月上旬  
場所 北海道地区  
内容 北海道地区工場見学会、委員発表 4 件予定
- 第 3 回 2014 年 12 月下旬  
場所 名古屋地区  
内容 委員発表 4 件予定
- 第 4 回 2015 年 2 月中旬  
場所 名古屋地区  
内容 委員発表 4 件予定

今後の活動予定

1.今後の方向・終了予定次期	H 26 年 12 月
2.レビューの会誌への投稿時期	H 27 年 3 月
3.研究報告書発行希望時期	H 27 年 4 月
4.シンポジウム開催希望時期	H 27 年 5 月
5.ロードマップ作成時期	H 26 年 12 月
6.オーガナイズドセッション開催時期	H27 年 6 月 ⇒H26 年 5 月の技術講習会実施に替えることが研究委員会承認事項 2014/05/31
7.期間延長希望(理由・延長期間)	1 年間の休会を余儀なくされたため、当初予定の 3 年間の活動期間を実質的に全うするため。(2013 年度 1 年延長済)
8.次期継続部会のサブテーマ,部会長,時期	今後検討する(2014 年 11 月までに検討予定)
9.その他:	